

## 学生・職員の豊明団地居住



カラーコーディネート・IKEA改装モデルルーム

- 2015年 4月 学生・職員計18人居住開始  
2016年～ **学生・職員 37名居住体制へ**
  - **4 or 5階の空室が対象**、URが改装
- 全室2DK～3DK **家賃 10～20%引 家賃32,000～**  
IKEAコラボ改装 カラーデザイン改装他
- 居住条件  
自治会活動、保健室活動に参加し住民と交流、地域貢献  
高齢独居者との食事会、安否確認、災害時の避難誘導、清掃活動



豊明団地居住学生と自治会役員

# 居住学生による地域活動参加

学生と自治会会議



公園清掃



学生による買い物支援



防災訓練



災害時炊き出し訓練



独居高齢者とのふれあい会食



豊明団地夏祭り





# 学生は団地に住むことで 高齢者が抱える現実の生活課題を学ぶ



子どもたちと遊びを楽しむ学生の  
豊明市の心じたまちかど保健室で

豊明市二村台の豊明団地に住む藤田保健衛生大の学生が十九日、団地内の心じたまちかど保健室で、子どもたちを招いたクリスマス会を開き、交流を楽しんだ。  
(並木智子)

## 豊明団地でXマス会

団地には、今年四月から医療や看護を学ぶ同大の学生十六人が居住。高齢者の生活や地域医療の現状をじかに学びながら、地域交流の場にも積極的に参加している。今回は、団地に住む子どもたちとクリスマス会

### 藤田保健大生、子どもら招き交流

一緒に楽しもうと、学生が初めて子ども向けのイベントを企画。外国籍の子や学校から戻っても親が仕事で一人で過ごす子どもを抱えている子がいることを聞いたことがきっかけで、近くの保育園や母親グループなどにチラシを配布した。

この日は、玉入れやじゃんけんゲームなどを用意。学生らはかぶりものをしたり優しく声を掛けたりして、集まった約十五人の子どもを楽しませた。最後にはクリスマスソングも一緒に歌った。

同大医療科学部一年の大井知佳さん(仮名)は「同じ棟の人とはよくあいさつするし、うまく交流ができていと思う。昼間は授業でないけど、子どもたちとも関わってみたい」と話していた。

日新聞 朝刊 2016 (H28) 年 1月26日 (火)

高齢化が進む中、学校の保健室のように地域住民が気軽に立ち寄って簡単な健康診断を受けたり、体のことを相談したりする施設が各地に設けられている。大学や地域と連携して、住民の健康寿命を延ばす取り組みを支援しながら、将来の地域医療を担う人材育成を図るなど、それぞれ地域のニーズを踏まえた活動を展開している。中部地方各地の取り組みを、2回にわたって紹介する。  
(佐橋大)



### 街角で学生が健康支援



高齢者を訪ねて在宅医療の相談を受ける学生たち。右は豊明市保健室で健康相談を受ける高齢者。

### 地域医療人材も育む

歩行が滞り、ふらつきや血圧の不安定化が原因で、地域の医療機関に入院する高齢者が増加している。豊明市は、高齢者の生活の質を向上させるために、地域医療の充実を図る。その一環として、市内の団地に住む学生が、高齢者の健康相談や健康診断のサポートを行う取り組みを始めた。

豊明市は、高齢化が進む中、地域の医療機関に入院する高齢者が増加している。その一環として、市内の団地に住む学生が、高齢者の健康相談や健康診断のサポートを行う取り組みを始めた。

豊明市は、高齢化が進む中、地域の医療機関に入院する高齢者が増加している。その一環として、市内の団地に住む学生が、高齢者の健康相談や健康診断のサポートを行う取り組みを始めた。

# 病後児保育室・地域包括支援センター開所

